※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ａ	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	現代文Ａ　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には積極的に出席し、前向きに取り組んでください。
・授業で扱う文章を読まされるのではなく自分で読み、考え、自分の世界を広げていってください。
・ノートやプリントなどの提出物は期限を守って提出してください。
・語彙力を確実に増やすために副教材を使用し、小テストなどを行います。しっかり予習をして挑んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			音読したり朗読したりしながら文章を読む楽しさを味わうことで読書への関心を高め、生涯にわたって読書に親しむ態度を育てる。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(後期)	随想・評論編	教材:さくらさくらさくら	○			○	○	a:主体的に知識・技能を身につけようとしていること。 d:文章・短歌を通して筆者の桜に対する思いを読み取ること。 e:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	a:行動の観察 d:記述の確認(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	小説・詩歌編	教材:山椒魚	○			○	○	a: 主体的に知識・技能を身につけようとしていること。 d:結末までの経過について把握できていること。 e:を通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	a:行動の観察 d:記述の確認(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	随想・評論編	教材:ミロのヴィーナス	○			○	○	a: 主体的に知識・技能を身につけようとしていること。 d:筆者のミロのヴィーナスに対する思い入れを読み取ること。 e: 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	a:行動の観察 d:記述の確認(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	随想・評論編	教材:少女たちの「ひろしま」	○			○	○	a: 主体的に知識・技能を身につけようとしていること。 d:本文の内容を自分の問題として捉えながら読んでいくこと。 e: 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	a:行動の観察 d:記述の確認(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	小説・詩歌編	教材:蠅	○			○	○	a: 主体的に知識・技能を身につけようとしていること。 d: 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 e:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。	a:行動の観察 d:記述の確認(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	随想・評論編	教材:「身銭」を切るコミュニケーション	○			○	○	a: 主体的に知識・技能を身につけようとしていること。 d: 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 e: 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	a:行動の観察 d:記述の確認(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。